

経済振興委員会報告資料

観光・MICE推進プログラムの改定について

令和4年12月
経済観光文化局

1. 報告の趣旨

平成30年9月に制定された福岡市観光振興条例を踏まえ、観光・MICEの取組みの方向性を示した「観光・MICE推進プログラム（以下、「プログラム」という。）」については、令和4年度をもって計画期間が終了するため、令和5年度以降のプログラム（原案）を報告するもの。

2. 福岡市の観光・MICE振興における課題

現行のプログラムにおいて残った課題への対応を継続的に進めるとともに、コロナにより大きな影響を受けた観光・MICE需要の早期回復や変容したニーズへの対応、世界共通の目標であるSDGsへの貢献など、新たな課題について取り組んでいく必要がある。

今後の取組みの視点

(1) コロナにより失われた観光・MICE需要の回復

インバウンド市場の回復を図りつつ、新たな国・地域からの誘客に取り組むとともに、多様なツーリズムへの対応など、新たな市場開拓に取り組み、変化に強い観光産業につなげていく。

(2) SDGsに資する観光・MICEの推進

世界共通の目標であるSDGsへの貢献に取り組んでいくとともに、多様性・包摂性に対応し、来訪者の満足度を高めるだけでなく、豊かな市民生活につながる持続可能な観光・MICEを推進する。

(3) 交流により育まれた魅力ある文化観光の推進

大陸との長い交流の中で育まれてきた福岡の歴史・伝統文化及び文化財を活用するとともに、「Fukuoka Art Next」等と連携した文化観光に取り組む。

(4) ビジネス機会の創出によるビジネス目的地としての魅力向上

福岡のビジネス環境を活かした新たな交流やビジネス機会を創出し、ビジネスにおける目的地としての魅力向上に取り組む。

(5) 観光産業における観光DXの推進

デジタルの活用による観光産業の生産性向上を図るとともに、観光資源へのデジタル技術の導入等による魅力向上など、観光DXを推進していく。

3. 取組みの方向性と主要施策

地域経済のコロナからの回復とさらなる活性化に向け、市内産業への経済波及効果を高める取組みを進めるとともに、九州のゲートウェイ都市としての特性や地域資源等を活かした観光・MICEの振興、SDGsや市民生活の向上につながる取組みなど、持続可能な観光・MICEを推進する。

(1) 九州のゲートウェイ都市機能強化

グローバル都市としてのゲートウェイ機能を高めるため、MICE施設の機能強化のほか、来訪者の利便性向上、回遊の円滑化などによる都市機能の強化に取り組むとともに、福岡市への幅広い誘客と九州周遊観光の促進により九州経済の活性化に貢献する。

【1-1 観光・MICE施設をはじめとする都市機能強化】

ウォーターフロント地区におけるMICE施設の機能強化や、観光・MICE施設などにおける利便性向上とおもてなし空間の創出に取り組む。

【1-2 新たな誘客の開拓】

マーケティングによる多様な国・地域からの誘客促進のほか、ワーケーションなどの多様な働き方やライフスタイルにあわせた需要の開拓に取り組む。

【1-3 市発着の九州周遊観光の推進】

福岡市を起点とする九州周遊観光の推進や国内観光客へのアプローチを強化する。

(2) MICE都市としてのプレゼンス向上

福岡市の強みであるMICEにより地域経済の活性化を図るとともに、質の高いMICE誘致や受入環境のさらなる充実、SDGsへの貢献などに取り組むことにより、国際観光・MICE都市としての目的地になることを目指し、都市のプレゼンス向上を図る。

【2-1 MICE誘致強化とビジネス機会の創出】

学会や展示会などのMICE誘致の強化や、都市のプレゼンス向上につながる質の高いMICE誘致に取り組むとともに、企業ミーティング等の誘致、MICE開催に合わせたビジネス機会の創出に取り組む。

【2-2 MICEにおける受入環境の充実】

世界水泳等の大型MICEにおける賑わい創出や多言語対応などの受入環境の充実を図る。

【2-3 SDGsへの貢献と都市競争力の向上】

観光・MICE事業者へのSDGsの理解促進と取組み支援するとともに、食のユニバーサルなどの多様性に配慮した観光・MICEを推進する。

(3) 地域や市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進

自然や歴史、伝統文化など、これまで受け継がれてきた地域資源を観光資源に磨き上げ、デジタル技術等も活用しながら、地域の魅力向上や回遊促進に取り組むとともに、観光産業の振興と豊かな市民生活につながるバランスのとれた観光・MICEの取組みにより、来訪者の満足度を高めつつ、市民生活の向上を図る持続可能な観光振興を推進する。

【3-1 地域資源等を活用した観光振興】

博多旧市街、鴻臚館・福岡城などの歴史文化を活かした観光の推進や、「Fukuoka East & West Coast」などの地域資源を活かした観光振興、文化施設・文化資源を活用した観光振興のほか、食の魅力発信などに取り組む。

【3-2 持続可能な観光産業の形成】

宿泊施設等の受入環境整備促進やデジタル等を活用した生産性向上に向けた取組を支援するとともに、地域と連携し、商店街等の観光・MICEの取組みを支援するなど地域の活性化を図る。

【3-3 観光と市民生活の調和】

観光客のマナー改善など市民生活に配慮した取組みや、観光・MICE振興への市民・事業者の理解促進を図りながら、観光ボランティアの活用など地域に愛着と誇りが持てる取組を進める。

4. 計画期間

令和5年度から令和7年度の3年間

5. 目標

(1) 観光・MICE需要の早期回復にかかる目標

- 入込観光客数 2,300万人
- 観光消費額 6,000億円
- 宿泊施設の平均客室稼働率 70%

(2) 持続可能な観光・MICEの推進にかかる目標

- 福岡に来訪した観光客の満足度(リピート希望率) 90% (R3 88.1%)
- 市民が観光客を受入れることへの意向(来てほしい割合) 80% (R4 72.0%)